

第2次アクションプラン 平成20年度の進捗状況考察

1. 進捗状況

視点	視点内計画数 (A)	20年度の目標が達成された計画 (B)			20年度の目標を左記の(B)を除いて50%以上達成または進行している計画() (C)			20年度の目標を50%以上達成または進行している計画() (B) + (C)合計計画数 (D)		
		計画数	達成率 (B/A × 100)	達成計画の番号 全体番号で表示	計画数	達成率 (C/A × 100)	達成計画の番号 全体番号で表示	計画数 (B) + (C)	達成率 (D/A × 100)	達成計画の番号 全体番号で表示
地域的な視点	10	3	30.0%	4, 7, 8	5	50.0%	1, 2, 5, 9, 10	8	80.0%	1, 2, 4, 5, 7, 8, 9, 10
情報政策的な視点	7	4	57.1%	11, 12, 13, 15	2	28.6%	14, 16	6	85.7%	11, 12, 13, 14, 15, 16
人的な視点	15	10	66.7%	22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31	5	33.3%	18, 19, 20, 21, 32	15	100.0%	18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32
財政的な視点	24	17	70.8%	34, 36, 37, 38, 39, 40, 42, 46, 47, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56	5	20.8%	33, 35, 41, 43, 48	22	91.7%	33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56
業務運営的な視点	8	0	0.0%		7	87.5%	57, 58, 60, 61, 62, 63, 64	7	87.5%	57, 58, 60, 61, 62, 63, 64
計	64	34	53.1%		24	37.5%		58	90.6%	

() 進行している計画とは・・・目標を達成するための手法が、当初とは別の手法で目標達成に向け、進行している計画をいう。

2. 考察

- ・第2次アクションプランの平成20年度の目標に対し、達成できた計画は全64計画中34計画(達成率:53.1%)となった。
- ・特に、地域的な視点において未達成なものが多い。その一つの理由として、地域的な視点の計画の中には、市川市が全国初となる事業(例:e-モニター制度、電子自治会、市民(納税者等)が選ぶ市民活動団体支援制度など)が多く、目標を設定した平成17年度当時には正確な目標設定が難しかったからと思われる。この他、計画策定時において、既に市民への取り組みがある程度達成されていたにも関わらず、サービスの拡大・拡充を目指したためではないかと思われる。
- ・また、業務運営的な視点においては、この視点に含まれる計画の多くが行政運営に関することが多く、流動する社会経済情勢の変化に合わせるように行政の手法も広がりを見せているため、平成20年度の目標を達成しているのは0計画となっているが、目標設定時の手法とは別の方法で、業務運営的な視点のうち50%以上達成されている計画の達成率が87.5%であることから、概ね達成されていると言える。
- ・そうした傾向は、第2次アクションプラン全計画の結果にも現れており、数値では表せないが目標に対して着実に進行しているもの、目標の数値には及ばないが50%以上の達成ができていたものを含めると、全64計画中58計画(達成率:90.6%)となり、計画の進行は確実な歩みを見せていると考える。
- ・こうしたことから次回の報告には、結果として現れることを期待するが、現状に満足せず、各所管部署が今後一層充実された結果となるよう努める必要がある。